

広報

むらた

2019

2

No. 536



特 集 現代へ受け継がれる 村田雛物語



村田雛物語



村田の雛人形

村田町は、「みちのく宮城の小京都・蔵の町」といわれています。町内のたくさんの蔵には、それぞれ歴史があり、それぞれに物語があります。この蔵の中には、昔から大切にされてきた物がたくさん伝えられてきました。そのひとつが雛人形です。

雛人形にも、やはりそれに物語があります。はるばる遠くから村田にやって来た雛人形たちとの一年に一度の春の再会は、長い冬をこえてやっと春を迎える東北の人々にとつては、より感動的な喜びの再会となります。

いつの時代も、子どもたちは純粹に美しい雛人形を愛し、そして、大人たちは自分の子どもへの思いと願いを雛人形に託し、雛祭を行ってきました。

慶長18（1613）年に、伊達政宗の七男の「伊達宗高」が、柴田・刈田三万石の領主として村田城を治めました。この頃に、城下町としての町づくりが行われ、城を中心に武家屋敷と町家（商人屋敷）が町割りされ、今日に至っています。

今日でも町の中心部に現存している土蔵の中には、江戸時代以降の雛人形が大切に保管されてきました。そして雛祭も町家の商家を中心に盛大に行われてきました。

村田の雛祭と京文化

村田町内の商家を中心に、江戸・明治・大正・昭和と各時代の雛人形が多く見られます。江戸時代の雛人形は、享保雛と古今雛が現存していて、いまだに雛祭



特集

現代へ受け継がれる



には毎年飾られています。

ところで町内の雛人形はどこから求めたかを調べてみると、京都から買い求めた家が多いようです。このことは、江戸時代の後期頃村田商人の活躍が目ざましく、特に紅花を扱った商人が、その商いのために、上方（京都・大阪）に足を運んだことが大きく影響していると思われます。当時、村田周辺で栽培された紅花は、村田に集められ、村田商人によつて上方に運ばれました。その運送の多くが、山形の最上川を使って、酒田港から北前船で運んだことが、町内の旧家の古文書に記録されています。この紅花の商いや北前船・最上川の水運によって、京文化が東北地方に入ってきたことは、山形県の河北町・大石田町・山辺町・新庄市・酒田市などの歴史や文化を見てもわかります。つまり、紅花を運んだ道は、京文化が入ってきた道であり、そのひとつが雛人形だったといえます。

男雛と女雛の飾る位置からも、京文化の影響が伺えます。古くから向かって右側が男雛、左側が女雛の位置でしたが、昭和3年に昭和天皇の即位式が行われた時の位置を参考に、東京の雛人形の業界でこれまでの位置とは反対に決めました。しかし、京都ではこれに反対し、これまで通りの飾り方をしています。村田の旧家の雛人形を見てみると、京都の影響を受けているということで、いまだに男雛と女雛の飾る位置も、京都と同じ飾り方をしています。

冬から春へ。春の訪れを告げるお雛様。これからも、それぞれのお雛様と喜びの再会をくりかえしながら、ずっと村田の雛物語が続き、伝えられていくことを願っています。

むらた町家の雛めぐり



「あかりをつけましょぼんぼりに」

各地で童謡が聞こえてくる3月3日。桃の節句。雛祭は女の子のすこやかな成長を祈るものです。

かつて村田では、雛祭のときに子どもたちが各家々をめぐって雛人形を見せてもらう『お雛見』という風習がありました。『むらた町家の雛めぐり』は、これをよみがえらせた行事です。江戸時代、紅花交易によって上方からもたらされたお雛様が、村田の重要伝統的建造物群保存地区を含む蔵の町並みと、村田町歴史みらい館に展示されます。長い時を経て、今も代々大切に受け継がれている享保雛や古今雛をはじめ、現代雛を含むさまざまなお雛様が商家の蔵や座敷などに飾られます。春の日差しの下、町歩きを楽しみながらお雛さまを見に町家をめぐってみませんか。

160年目を迎えたわが家のひな 大沼 悅子さん（本町）

3月はひな祭り。不況の影響でお先真っ暗な時節、華やかなひなはしばし心を和ませてくれる。

わが家のひなは、紅花交易によって初代が江戸時代に京都から日本海を経て村田の地まで運んできたひなである。今年で160年目になる。

ひなたちは、この地でいろいろなことに遭遇したであろう。好景気に沸いた時代もあったろうし、暗黒のあの戦争もくぐり抜けてきた。そしてひなたちは春の来るのをじっとお蔵の中で待っている。

ひなたちを大切に守り抜いてきたのは女たちである。160年にわたり、この家の者たちの生きざまを確かに見つめてきたはずである。古いひな箱からひなを取り出すとき、いろいろな思いが脳裏を巡る。変わらぬお顔のおひなさま、紅花染めの衣装を身にまとい、ちょっとおすましした古今びな。じっとお顔を見ていると、遠い昔がほうふつとする。

村田は江戸時代から「雛めぐり」の風習があった。江戸時代の商人の心意気に思いをはせて、今年もたくさんの人たちとの出会いを楽しみに、そして心に安らぎを与えてくれるひなたちに感謝しながら、飾り付けようかと思っている。

（平成21年・河北新報声の交差点掲載）



きょう ほう びな こ きん びな 享保雛と古今雛

雛祭が急速に発展し、人形の飾りつけも次第に華やかになってきたのは、江戸時代になってからです。八代将軍吉宗の時代の享保（1716～1736）の頃には、高級化した「享保雛」が流行しました。また、明和年間（1764～1772）頃に、江戸生まれの雛が流行します。これが「古今雛」です。古今雛の流行は、京都や大阪にも移り人気を得て、この雛の型式は、踏襲されて今日に至っています。

きょう ほう びな 享保雛



【個人蔵】

享保雛は、江戸時代中期の享保年間（1716～1736）頃に流行したといわれる古様の大型の雛人形です。能面のような顔や、女雛の袴に綿を入れて丸くふくらませたところに特徴があります。当時は、雛段飾りが完成していないので、毛せんを敷き、その上に人形や道具やごちそうを並べていたので、雛人

形も大きくつくられていました。衣裳は、金襷や錦を使った豪華なもので男雛は手に笏を持って、女雛は五衣・唐衣ににせた姿で檜扇を持っています。幕府が、享保6（1721）年に24センチ以上の雛をつくったり、売ったりしてはいけないと禁止した御触書を出したのは、ちょうどこの享保雛が流行していた頃の出来事でした。

こ きん びな 古今雛



【個人蔵】

古今雛は、江戸時代の明和年間（1764～1772）頃に、江戸の上野池端の大槀屋が、日本橋十軒店の人形師の原舟月に顔を彫らせて売り出し大流行しました。顔が写実的で、まるで歌舞伎役者のように精巧につくられているのが特徴で

す。原舟月は、山車人形のつくり手でもあったので、その製作技法を応用し、雛の両眼にガラスや水晶をはめこんだ作品もつくられました。衣裳は、これまでのものを一層華やかにして、さらに金糸や色糸で鳳凰や薬玉などをほどこして、より華麗に仕立てています。古今雛の名は、古代の風格と今代の好みとをおりませて製作した雛人形ということを指しているといわれています。

雛人形の表情や衣装の違いにも注目！ 第22回むらた町家の雛めぐり

- ◇開催日／3月23日（土）、24日（日）
- ◇時 間／23日（土）午前10時～午後4時、24日（日）午前10時～午後3時
- ◇場 所／蔵の町並み（重要伝統的建造物群保存地区を含む）、村田町歴史みらい館
- ◇観覧料／無 料

【問】村田町歴史みらい館 83-6822

平成三十一年 村田町成人式

祝 成人おめでとう！

新たな門出

村田町成人式が一月十三日、村田町民体育館で行われました。

晴れて成人の日を迎えた成人者は、平成十年四月二日から平成十一年四月一日までに生まれた町内に住んでいる方と村田第一中学校及び村田第二中学校卒業生百十九名（男性六十九名・女性五十名）。振り袖やスーツに身を包み、久しぶりに会う友人らと写真を撮つたり話に花を咲かせたりしながら、旧交をあたためあう様子があちらこちらで見られ、会場内は、新成人たちの笑顔でいっぱいでした。また、今年も「村田町成人式実行委員会」の皆さんのが、一生に一度の成人式を思い出深く、心に残るものとなるよう企画・運営しました。

式典では、佐藤町長からの祝辞や記念品贈呈、代表の二名による「はたちの主張」の発表などなどやかに行われました。

村田町名誉町民の三宅義信さんからは「自覚と誇りを持って、一つ一つ前進しながら、世のため人のため自分のために頑張ってほしい」とメッセージが新成人に贈られました。

式典の最後には地区ごとの記念撮影が行われ、大人としての自覚を胸に、希望溢れる明日へと歩み始めた新成人の輝く未来にふさわしい式典となりました。





はたちの主張

今日ここにいる新成人の皆さんは日々どんなことを大切にして過ごしているでしょうか。友達だったりお金だったり、大切なものはたくさんあります。その中で私が特に大切にしていることを二つお話ししたいと思います。

一つ目は、周りの人を大切にすることです。私は本音で向き合うことが苦手ですが、親密な関係の人となら本音で向き合うことができます。それも大切にする、ということに入ります。相手のことをよく見て、考えた上で本音で向き合って、そしてお互いに成長できるような関係を築いていきたいです。

二つ目は自分を大切にすることです。周りの人を大切にするには、まず自分を大切に思うことが必要です。自分を大切にして初めて他人を大切にできると思うのです。もしかしたらこの中には自分のことを大切な人間だ、と思うことが難しい人もいるかもしれません。もし貴方が今生きるのが辛いと思っているならもう少しだけゆづくりと生きてみませんか。

私も、出会いの一つ一つを大切に、そして、自分を大切に生きていきます。当たり前のことを大切にできる、そんな大人が私の憧れです。そして何十年か経った後、この話をしたことを振り返ったときに、「そんなの当たり前じゃない」と笑えるようになっていたいと思いま



小野 星奈さん
(村田第一中学校卒業生)



小山 香純さん
(村田第二中学校卒業生)

私たちも二十歳を迎え、すでに職業に従事している人や、学業を続けている人など立場はさまざまですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、夢を持つて励んでいることだと思います。

私は現在、この生まれ育った村田町で役場職員として働いています。覚えることが沢山あり、社会人として、職員としてまだ未熟ですが、村田町のために自分ができることを精いっぱいしていきたいと考えています。まずは、一社会人として一つ一つの言動に責任を持つて、町民の方々と接し、信頼されるよう努めたいと考えています。私は、人前で話していくたいと思います。私は、人前で話すことがあり得意ではありませんが、これを機にどんなところでも自分の意見を言えるような大人になりたいと思います。

またこれから先、どんな困難なことがあつても、成人としての自覚を持ち、人のため、そして自分自身のために前向きに歩んでいきたいと思います。

今日までの二十年間、本当にいろいろなことがありましたが、幼稚園から中学校まで時にはぶつかり合いながらもたくさん笑いあい一緒に過ごした仲間とこの日を迎えることが大変うれしいです。

一日でも早く一人前の大になれるよう、社会の一員として皆様の期待に応えられるよう、日々努力していきたいと思っています。

(一部抜粋)



地

域おこし協力隊が着任しました！



一月四日、村田町地域おこし協力隊委嘱状交付式が執り行われ、神奈川県横浜市在住の森田雄士さんが村田町初の隊員として委嘱され着任しました。

地域おこし協力隊は、都市からの人材を受入れ地域活動に協力を買ってもらい、定住・定着を図ることで地域力の強化・維持を目的とした総務省が進める制度です。

今後、(株)まちづくり村田と町の資源を活かした地域活性化に資する活動をします。

合

同安全祈願式を行いました



新年を迎えた一月四日、町の消防団、交通安全指導隊、防犯実働隊並びに町関係者による合同安全祈願式を白鳥神社で行いました。

三団体の代表者と町関係者は、本町において穏やかな年になることを願い、今年一年間の無火災、無事故、防犯などといった地域の安全を祈願しました。

平

成三十一年新春賀詞交歓会を開催しました



一月四日、町主催の新春賀詞交歓会を中心公民館で行い、町内各企業や団体などの代表者約三三十名が参加しました。アトラクションでは、新春を祝う演舞として、松若流なでしこ会による踊りが披露されました。新春の幕開けに華を添え、新春の挨拶を交わしながら、親睦を深めるとともに、新年の飛躍を誓っていました。



社

会を明るくする運動 標語入賞者表彰式



一月二十二日、社会を明るくする運動の一環として募集した標語の入賞者表彰式が行われました。この運動は、地域で犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的に、毎年実施しているものです。

今年度は、町内の中学生を対象に百九十九点の応募があり、その中から十作品が入選しました。

表彰式では、佐藤町長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が手渡されました。

電

気のはたらきを 調べよう!」を開催



十二月十五日、中央公民館を会場に、第三回むらたサイエンスクラブを開催しました。東北福祉大学 小石川秀一先生と学生三名の指導のもと、実験をおこして、電気のいろいろな働きを調べました。

今年度は、小学四年生から六年生が参加し、手回し発電機、LED電球、白熱球、電磁石などを使って、身近な電気がどのように生まれ、どのように利用されているのか楽しく学ぶことができました。

マ

「ボック発表会」を開催



十二月二十二日、中央公民館を会場に、ジュニア・リーダーによるクリスマス会「マボック発表会」を開催しました。今年度は創作劇や創作活動、キャンドルサービスを行い、参加者はジュニア・リーダーとのひとときを楽しく過ごすことができました。

マボック発表会は、参加したみなさんにとって、素敵なものになりました。

小

正月行事を 体験してみよう!を開催



一月十二日に歴史みらい館で、「小正月行事を体験してみよう!」を開催しました。大人、子どももあわせて七十九名の参加者は、関場地区に伝わる伝統芸能「田植踊り」と沼田地区に伝わる伝統芸能「七福神舞」を鑑賞しました。「七福神舞」では、小学生の参加者が弁財天と布袋尊に仮装し、凛々しい姿で他の七福神たちと舞っていました。

この他にも、団子刺しや餅つきを体験し、小正月を堪能しました。

～健やかで 幸せな食卓を～ 体にやさしい健幸レシピ

健康な体づくりに日々の食事は欠かせません。生活習慣病の予防、体力の維持・向上、質の良い睡眠。あらゆるところで食が関わります。健幸レシピをヒントに健やかな毎日を過ごしましょう。

2月のテーマ 「むし歯予防」

ごろごろ野菜のカレーディップ（2人分）

水煮大豆	100g	野菜（好みのものを）
玉ねぎ	1/4個	にんじん 1/2本
カレー粉	小さじ2	じゃがいも 1/2個
水	大さじ3	ブロッコリー 小房6個
塩	少々	だいこん 3cm幅1/2つ
油	小さじ1	

作り方

- にんじん、じゃがいもは一口大、だいこんはスティック状、たまねぎはみじん切りにする。にんじん、じゃがいもは電子レンジ600Wで2分半～3分、ブロッコリーは電子レンジ600Wで1分半加熱する。
- フライパンに油を熱し玉ねぎを炒め、透き通ってきたら水煮大豆、塩を加え、全体に熱が通るまで炒める。
- カレー粉を水で溶き、②に加え、2～3分炒める。
- ボウルに移し、スプーンやフォークでペースト状にする。適宜水を加え滑らかさを調整する。

～「むし歯予防」の一冊メモ～

唾液にはむし歯菌や歯周病菌から口を守る働き、歯を修復する働きがあります。唾液を十分に分泌させるために、食事のときにはしっかりとよく噛むことが大切です。また、歯の健康を保つフッ素は野菜などの多くの食品にも含まれています。

今回のレシピはカレー味で野菜が食べやすくなり、子どものおやつにぴったりです。食パンの耳などよく噛む食材も試してみてください。

栄養成分（1人分）：※ディップのみ
100kcal たんぱく質6.8g 脂質5.5g 食塩0.7g
野菜の量：150g



～保健推進員のおすすめポイント～

野菜の歓ごたえを感じられるレシピです。よく噛んで野菜そのものの味を味わえるのが良いと思います。カレー味で子どもたちも野菜をたくさん食べられそうです。

(寄 井 地 区：吉野 美智子さん、
沼辺南地区：大沼 志げ子さん)



[問] 保健センター 83-2312

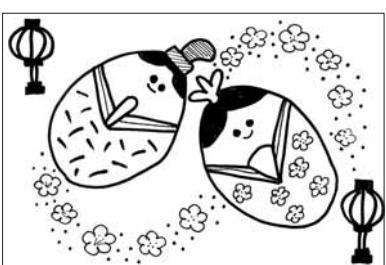
ふれあいひろば



このページは、町民の皆さんができるページです。

□連絡先/総務課 総務班 ☎83-2111

「らくがきコーナー」は、黒色のサインペンやボールペンを使って、はっきりと描いてください。（ペンネームだけでなく、住所や氏名、行政区もきちんと書いてね。）「町民文芸」も募集中です。初投稿の方も大歓迎です！
※投稿作品が多い場合や投稿内容によっては、総務課で掲載作品を選ばせていただきます。



P.N くるみ(小泉西町) ▶▶



（らくがき）
（コレクター）

十五人
冬帽子
散步ためらふ
鈴木恵子

芋も洗う
水車の音や
お年玉
里日和
後藤信夫

（町民文芸）

むし歯 ゼロの子

1月9日に行われた3歳6か月児健診で、むし歯がゼロだったみんなを紹介します。これからも歯を大切にしようね！

“むし歯ゼロの子”には、むし歯の治療が完了しているお子さんも含みます。むし歯予防も大切ですが、定期的に歯科健診を受け、お口の中の状態を知ることも大切です。むし歯ができてしまったら、早期に治療しましょう。

これからも歯を大切にしようね！



いい むら み わ
飯村 美和ちゃん
(千塚)



たか はし けん ご
高橋 謙悟くん
(本郷)



おお ぬま さと み
大沼 里実ちゃん
(内町)



もん でん る き
門傳 瑞聖くん
(小泉西町)



やんべ や ち ょ
山家 八千代ちゃん
(荒町)



まと ば けい た
的場 恵汰くん
(足立東)



いわ ま たい が
岩間 大芽くん
(姥ヶ懐)



すず き あ こ
鈴木 彩心ちゃん
(沼辺南)



ほし なお た
星 尚汰くん
(本町)



次号の対象となるのは、平成30年2月、3月生まれのお子さまです。
掲載を希望する場合は、1か月以内に撮影した写真と掲載依頼書を保健
センターの「1歳児お誕生相談」の際にお持ちください。直接、役場へ
提出される場合は、3月5日(火)までに総務課へお持ちください。

お問合せ 〈自宅での撮影、掲載について〉 総務課 総務班 ☎83-2111
〈1歳児 お誕生相談について〉 保健センター ☎83-2312



たか ぎ ひびき
高城 韶ちゃん

(保護者：直樹・まどか) 本郷
●1歳おめでとう！これからも
たくさん一緒に遊ぼうね。
(パパ・ママより)



きた じま しゅん じ
北嶋 峻至くん

(保護者：伸好・あゆみ) 本郷
●お誕生日おめでとう！これからも
兄弟に負けない、たくましく優
しい子に育ってね。
(家族みんなより)



よし だ なの は
吉田 凪葉ちゃん

(保護者：博一・詩織) 千塚
●1歳おめでとう！すくすく元気
に育ってね！
(パパ・ママより)



ひ ぐち せ な
樋口 聖渚くん

(保護者：拓海・未来) 石生
●1歳おめでとう!! いっぱい食べ
て大きくなつてね!! だいすき♡
(パパ・ママより)



き むら あ り さ
木村 有里彩ちゃん

(保護者：雄大・真里亞) 本郷
●1歳おめでとう！これからも
元気でたくさん笑う有里彩でい
てね♡
(ママ・パパより)